

青森市中心商店街女性部と新町商店街の取組

2003年から取組むしんまち逸品運動の浸透のため、地道にお店回りツアーを継続

真摯な取り組みが広げる人の輪

■ 運動の継続とアピール手段としてのお店回りツアーの実施により、「モノ(逸品)」に加え、「ヒトや心」が伝わり広がる



↓ 北海道新幹線開業を見据えて 2013年度より取組開始「しんまち逸品ツアー旅人版」



豪華客船のお客様に、女性部主催でアップルパイ作りのアトラクション提供。

焼ける間の時間を利用、ガイド付きで近くの街や市場で、生の青森を見学して頂きます。

右下は・・・見覚えあるご夫婦のお客様。2年後の秋、新町への嬉しい客船再訪で、偶然の出会い。でも嬉しい記憶がしっかりお互い残っていました。



↓新町には、来訪者に青森の季節を楽しんで頂けるような街路樹を選んで植えてあり、地元の人にとってもまち歩きツアーの楽しみになっています。



しんまち逸品ツアー
旅人版開始を記念し、
商店街メンバーのガイド
半天を新調。青森市の
玄関であり顔を務める想いを
背負っています



北海道新幹線開業に向けて
旅行エージェント向けに行った
モニターツアーも大好評。
この10月からエースJTBの
オプションツアーとして、
アップルパイ手作り体験と
組合わせたプランが採用
され、パンフに掲載されて
います



10月760 10/1-11/3/31 北東北

青森・秋田・岩手
観光プラン

どなたでも楽しめる観光プラン
10/10-11/3/31 北東北

青森市観光局

10/10-11/3/31 北東北

青森市観光局

青森まち歩き逸品ツアー&
手作りアップルパイ
体験プラン

どなたでも簡単「青森りんごの手作りアップルパイ」は大人気プラン。
残りの時間を活用して青森の街や名物を地元ガイドがご案内します。

■販売期間: 2015年10月10日-24日、11月7日-21日、12月5日-19日、
2016年1月9日-23日、2月11日-27日、3月5日-19日

■料金 / 券ひとり **1,500円**

■コースのポイント

- 初めての方でも大丈夫。どなたにも簡単にできるようアレンジしたおいしい青森りんごのアップルパイ作りを体験。焼き上がりまでお時間には青森のまち歩きと地元でも人気の逸品をガイドがご案内。お帰りは焼き立てのパイをお楽しみいただけます。
- ※料前に含まれるもの? ガイド代、各種代(アップルパイ1個)、コーヒー代
- ※取付料は1日あたりが標準。当日は100円と異なります。お土産料は1手配につき108円がかかります。
- ※集客会場: 青森市観光交流情報センター(原町駅前)
- ※開始時間: 13:30
- ※参加人数: 10名以上
- ※最少参加人数: 3名
- ※お問い合わせ: 0172-66-6666

アップルパイ作り体験

自信取り戻す「逸品」

大交流時代

駅とまちづくり

3.14開業 あと128日

② 青森駅(青森県)

青森駅から車で八百八十キロ続く新町商店街。各店が自慢の一品を売り出す。二店逸品運動を始めて一十一年になる。

実行委員長で青森市を営む伊香佳子さんが語る。青森は、中心には「しんまち」が、駅にきた人々に有意義な時間を過ごしてほしい。商店街の危機感から始めた逸品運動への思いが、十年の節目に作られたほんごに結まっています。

北海道への青森連絡船に乗る人の往来まで発展した。逸品を題材に、ネクタイ

だが、一九八八(昭和六十三)年に連絡船は廃止され、駅前の人通りは激減。徒歩圏内だった県立病院や図書館も郊外に移り、車で十分ほどの距離に移動販売店がいくつもできた。青森市が市街地活性化策を打ったのは、商店街にできることは何かと問いかけ、二〇〇三年に有志で運動を始めた。

物販店の七割ほどの五十店が参加。毎年選り商品を決めた運動へは、店頭でも紹介する。大物量販店に押されていった洋装は、商店街が会場となる「青森ねむた祭」を題材に、ネクタイ

きょうの紙面

北陸中日新聞

青森市のコンパクトシティ
街地の拡大で増える除雪費など行政コストの削減を目指し、1989年の都市計画法に盛り込んだ。中心市街地(青森駅東の100m)を活性化策として、新町商店街に商業施設や図書館が入る再開発ビルや高齢者マンションなどを整備する一方、条例で郊外の開発を制限。駅西に4、離れ2010年12月に開業した東北新幹線の新青森駅の周辺開発も抑制しながら、青森市の街の活性化を推進し、商業施設を駅前直後エリアに誘致する。両駅間を結ぶ「特急列車」は特急料金なしで乗れる。青森駅前の誘客を図る。

男性、今は売り上げ全体の半分を占める。

メンバーは駅前のにぎわいづくりも担うようになった。参加は案内するお店回りのツアーは、遠のいてきた市民に好評で毎回定員を超える。ねむた祭を駅を中心としたまちづくりが進む。(倉布川剛)

社説・発言 生活 囲碁 囲碁・将棋 囲碁 お悔やみ